

## ケーキを<sup>わ</sup>分けるさる



むかしむかし、あるところにねこが<sup>にひき</sup>二匹いました。<sup>にひき</sup>二匹は<sup>とも</sup>友だちになりました。  
ある日、<sup>ひ</sup>一匹がどこかからケーキをひとつ<sup>き</sup>ぬすんで来ました。<sup>にひき</sup>二匹はうれしくな  
り、そのケーキを<sup>わ</sup>分けて<sup>た</sup>食べることにしました。



わけてみると、かた方が少し大きくなりました。それで、けんかになりました。

二匹のねこを木の上から一匹のさるがずっと見ていました。さるは木から下りてねこたちに聞きました。

「どうしたんですか。」

ねこはわけを話しました。

「ケーキを上手に分けられません。ちょうど半分になるように分けてください。」



それを聞いてさるは大きい方のケーキを少し食べて小さくしました。すると、  
小さかった方が大きくなってしまいました。

ねこはケーキを見て「同じ大きさじゃないよ。」と言いました。さるは「ごめんごめん。まちがえました。じゃ、もう一度やってみましょう。」と言いました。そして、もう一度大きい方を少し食べました。でも、同じ大きさになりません。こんなことをくり返してさるはケーキをぜんぶ食べてしまいました。



そして、さるはあつという間に<sup>ま</sup>にげてしまいました。

(455字)

(Retold by Rupal Baran Barua)

(2021.8 Edited by Tomoko KIYAMA)

(All pictures are drawn by Hinako FUJIMURA)



この作品はクリエイティブ・コモンズ<sup>さくひん</sup>表示<sup>ひょうじ</sup> - 非営利<sup>ひえいり</sup> - 継承<sup>けいしょう</sup> 4.0 国際<sup>こくさい</sup> ライセンスの下に提供<sup>ちようきやう</sup>されています。この作品<sup>さくひん</sup>を利用<sup>りよう</sup>する場合は、<sup>ばい</sup>「たどくのひろば」を出典<sup>しゅてん</sup>として示<sup>しめ</sup>してください。

例<sup>れい</sup> 出典<sup>しゅてん</sup>: 「たどくのひろば」 (<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.